



福島医務第253号(地)

平成24年 4月19日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

(公 印 省 略)

医療安全ワークショップ“いのちをまもるパートナーズ”の開催について

標記の件につきまして、医療安全全国共同行動より別紙のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

医療界初の共同事業として平成20年にスタートしました医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”は、災害のために中断を余儀なくされましたが、第2期を平成25年3月まで延長して再始動いたしました。第2期では、従来の8目標に【安全な手術－WHO指針の実践】を加えるとともに診療所にも広く参加を呼びかけ、病院と診療所の医療安全の向上に取り組むことを目的に、下記日程にてワークショップを開催いたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただきますとともに、貴会会員への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、ホームページ (<http://kyodokodo.jp/>) に本ワークショップのプログラム並びに医療安全全国共同行動(2008－10)の報告書を掲載しております。

記

1. 日 時 4月28日(土)・29日(日)
2. 会 場 京都テルサ府民総合交流センター
3. 参 加 費 1万円(29日交流会費を含む)

※実技講習会(プレ・ワークショップ)も受講される方は1万3千円。

4. 主 催 医療安全全国共同行動

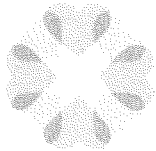
5. 申込方法：共同行動ホームページ <http://kyodokodo.jp/>からお申し込み下さい。

※病院・診療所職員の方々ほか医療関係者はどなたでもご参加いただけます。

6. お問い合わせ：医療安全ワークショップ事務局 workshop2012@convention.co.jp

(日本コンベンションサービス株式会社東北支社内)

TEL 022-722-1311 FAX 022-722-1178



医療安全全国共同行動

連絡先 (e-mail) secretariatpartners@kyodokodo.jp

〒420-0949 静岡市葵区与一 4-1-1 静岡県立こころの医療センター内

電話 054-251-8727 FAX 054-251-8728 URL <http://kyodokodo.jp/>

平成 24 年 4 月 吉日

各 位

医療安全全国共同行動
議長 高久史磨

医療安全ワークショップ “いのちをまもるパートナーズ” のご案内

拝啓 陽春の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は医療安全全国共同行動の推進にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。未曾有の大震災津波災害から 1 年が経過しました。犠牲になられた多くの方々に深く哀悼の意を表しますとともに、一日も早く再生復興を遂げることができますよう心より祈念いたします。

医療界初の共同事業として 2008 年にスタートしました医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ” は、災害のために中断を余儀なくされましたが、第 2 期を 2013 年 3 月まで延長して再始動いたしました。第 2 期では、従来の 8 目標に【安全な手術－WHO 指針の実践】を加えるとともに診療所にも広く参加を呼びかけ、病院と診療所の医療安全の向上に取り組みます。ホームページ (<http://kyodokodo.jp/>) に、医療安全全国共同行動 (2008－10) の報告書を掲載いたしましたのでご高覧いただけると幸甚に存じます。

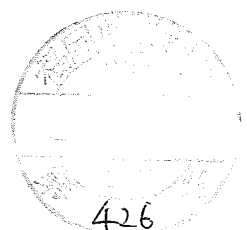
今年度は、来る 4 月 28-29 日に京都テルサ府民総合交流センターにおいて今年度のキックオフを兼ねた医療安全ワークショップ “いのちをまもるパートナーズ” を、また、11 月 25 日(日)に大宮ソニックシティにおきまして医療安全全国フォーラムを開催いたします。4 月 28-29 日のワークショップでは 9 目標に関する分科会と教育セミナーのほか、プレワークショップで実技講習会を予定し、安全目標の実現に向けて相互の学びの機会となることを願っております。安全と信頼の向上をめざす診療所と病院の皆様にはぜひご参加いただきたく、会員の皆様にご案内を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

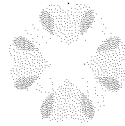
末筆ながら皆様のご健勝と貴会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具

記

1. 同封資料
 - 医療安全ワークショップ “いのちをまもるパートナーズ” のお知らせ
 - 医療安全全国共同行動 (2008-10) の報告
 - 医療安全全国共同行動 (2nd Stage 2011-12)
2. 医療安全全国共同行動への参加登録と医療安全ワークショップ “いのちをまもるパートナーズ” への参加申し込みは共同行動ホームページからお願いいたします。
<http://kyodokodo.jp/>
3. 医療安全全国共同行動に関するお問合せは下記まで：
共同行動事務局 メールアドレス(代表) secretariatpartners@kyodokodo.jp
 - ◇ 共同行動事務局が下記に移転しました。
(〒420-0949) 静岡市葵区与一 4-1-1 静岡県立こころの医療センター内
電話 054-251-8727 FAX 054-251-8728





お知らせとお願い

1. 医療安全ワークショップ(4月)と医療安全全国フォーラム(11月)のお知らせ

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”の主催により、今春の4月28日(土)、29日(日)に「医療安全ワークショップ」いのちをまもるパートナーズ“」(於：京都テルサ府民総合交流センター)、今秋の11月25日(日)に「医療安全全国フォーラム」(於：埼玉県／大宮ソニックシティ)を開催致します。呼びかけ団体、参加団体、参加登録病院・診療所はもとより医療に関わる組織や個人に広く参加を呼びかけます。医療安全ワークショップのプログラムは別紙とホームページをご参照ください。

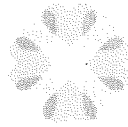
貴会の関係者、関係施設にご案内いただけると、また、機会のホームページから共同行動のホームページにリンクを張っていただけると幸甚に存じます。(リンクに許可申請は不要です。リンクを張っていただいたことをお知らせいただけると幸いです。)

2. 医療安全地域フォーラム、セミナーの開催にあたって、共同行動の目標や推奨対策をテーマに取り上げていただきますようお願い申し上げます

医療安全全国共同行動では、次の9つの目標を達成することを目的として、医療機関、医療団体間で取り組みの経験とその成果を交流し、有効だった対策を提供しあい、弱いところを相互に助け合う活動を促進することをめざしています。目標の実現には、さまざまな部署や職種がそれぞれの立場で役割を果たす組織的な活動が不可欠と考えますことから、地域の医療を担う主要医療団体の皆様のお力により、9目標またはそのいずれかについて病院、診療所の医療安全の取り組みを交流する医療安全フォーラムやテーマ・セミナーの開催にご高配を賜れば真に幸いに存じます。また、定例で開催されています講習会やワークショップ等のテーマに9目標を取り上げていただきたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。共同行動では、地域で開催されるフォーラムやセミナー、医療安全講習会等に、9目標と推奨対策に関する講師のご紹介や資料の提供を行っておりますので、ぜひご利用ください。

【9つの行動目標】

- 目標S. 安全な手術-WHO 指針の実践
- 目標 1. 危険薬の誤投与防止
- 目標 2. 周術期肺塞栓症の予防
- 目標 3. 危険手技の安全な実施
 - (a) 経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認の徹底
 - (b) 中心静脈カテーテル穿刺挿入手技に関する安全指針の策定と順守
- 目標 4. 医療関連感染症の防止
- 目標 5. 医療機器の安全な操作と管理
 - (a) 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理
 - (b) 医療機器の安全な操作と管理—人工呼吸器の安全管理
- 目標 6. 急変時の迅速対応
- 目標 7. 事例要因分析から改善へ
- 目標 8. 患者・市民の医療参加



3. 医療安全全国共同行動の貴地域での推進にご協力を願います

共同行動(2011-12)では、9つの目標実現をめざす取り組みの地域での交流や相互協力の一層の発展を願っています。つきましては、地域の病院と診療所に共同行動の主旨をご理解いただき、参加登録施設の拡充と推奨対策の浸透を図るために、ぜひ貴会のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

ご協力いただけます場合は、地域推進団体としてホームページ掲示用バナー(共同行動ロゴマーク)、行動目標のポスター(目標別9枚セット)、月刊ウェブマガジンほかのメールでのご案内、共同行動パートナーズ専用ページ(*)のアクセス用PW、をご送付申し上げますので、別紙にてご請求いただきますようお願い申し上げます。

(*) 参加団体、参加登録施設、支援チーム専用の非公開ページ

また、ご承諾いただける県の団体や医療機関に、「医療安全全国共同行動地域推進拠点」として、域内の主要医療団体の協働による医療安全地域フォーラムやセミナーの開催の労をとっていただくようお願いしています。すでに医療安全推進のための協議会や連絡会議等がございます場合は、ぜひ地域推進拠点としてご登録いただき、9目標実現のためにご協力を賜りたくお願い申し上げます。共同行動の主旨をご理解いただき、格別のご賢察、ご高配を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

◇ これまでに地域推進拠点としてご協力いただいている団体

富山県公的病院長協議会、社団法人静岡県病院協会、神奈川県医療安全対策事業実行委員会、
社団法人福岡県病院協会、社団法人石川県医師会、鹿児島大学病院、沖縄県医師会、
社団法人滋賀県病院協会、社団法人広島県医師会、宮城県医師会(東北地域推進委員会事務局)
(依頼中)名古屋大学医学部附属病院、独立行政法人国立国際医療研究センター病院、
自治医科大学附属病院、社団法人山形県医師会

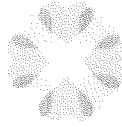
4. 9目標に関する貴会の取り組み、その他の医療安全向上を目指す取り組みを、共同行動ホームページから紹介させてください

共同行動ホームページでは、医療安全の向上をめざす団体や医療機関のさまざまな取り組みを紹介しています。つきましては、貴会の取り組みをご寄稿いただきホームページに掲載させていただくか、貴会の紹介欄にリンクをつけさせていただきますようお願い申し上げます。掲載時にその旨を参加登録施設と参加団体にメールでお知らせします。

5. 共同行動(2008-10)の報告と共同行動(2011-12)の冊子をお送りいたします

本状に同封しています表記の冊子をご送付申し上げます。別紙申込用紙にて必要部数をご指示ください。

- ◇ 10部まで無償でお送りいたします。
- ◇ 事業財源の制約上、追加分は実費のご負担をお願いできると幸甚に存じます。(10部5千円)
- ◇ 同冊子の内容は共同行動ホームページからダウンロードできます。<http://kyodokodo.jp/>



医療安全全国共同行動事務局（広報担当） 行 FAX 送信先 022-265-7550

貴施設名 _____

該当する事項の口内に ☒ をご記入ください。

1. 冊子の送付について

- ☐ 送付を希望しない
☐ 送付を希望する → 冊子を（ ）部
 ☐ 無償送付を希望（10冊まで）
 ☐ （ ）冊分の代価を振り込むので請求書を送れ（10冊5千円）

2. フォーラム、セミナー、講習会等への講師紹介や資料提供について

- ☐ 依頼しない
☐ 検討する
☐ 依頼する → 事務局あてメールまたはFAXにて依頼事項をお知らせください

3. 共同行動の推進と9目標の周知への協力をお願いについて、ご検討いただけるもの

- ☐ ホームページに、共同行動ホームページへのリンクを付ける
☐ 9目標の推奨対策や主要行事を会報やホームページ、講習会等で紹介する
☐ 貴会の活動を共同行動ホームページから紹介させていただく
☐ その他（ ）

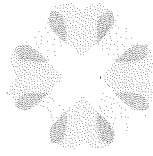
4. 送付請求

- ☐ 月刊ウエブマガジンのメールでの案内
 （案内先メールアドレス： ）
☐ 行動目標のポスター（目標別9枚セット）
☐ ホームページ掲示用のバナー（共同行動ロゴマーク）
☐ 共同行動パートナーズ専用ページのアクセス用PW
☐ その他（ ）

【連絡事項】

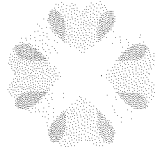
【連絡担当者】 お名前 _____ ご所属／役職名 _____

電話 _____ FAX _____ e-mail _____



参加登録施設（病院・診療所）について

1. 共同行動の9つの目標と推奨対策、日本医師会・日本歯科医師会が推進する医療安全戦略の課題の中から、貴施設が今年度に優先して取り組む目標と指標を決め、実施計画を立てて取り組んでください。
共同行動のホームページやメール相談、地域フォーラムの機会等を活用し、他施設の取り組みと成果も参考にしながら、また、Q&Aで課題別専門家（支援チーム）の助言も得ながら、組織的な改善を進めてください。その成果をお知らせください。
2. ホームページとメールでウェブマガジン（月刊）をお届けします
ウェブマガジンでは、支援チームの一言アドバイス、活動事例の紹介、共同行動支援セミナーと9目標に関連する各種セミナーの案内など、9目標実現のために参考となる情報や参加登録施設への連絡事項をお知らせします。 共同行動ホームページ URL <http://kyodokodo.jp/>
3. パートナー専用ページへのアクセス用パスワードを提供いたします。掲示板やQ&Aなど、積極的にご利用ください。
 - ・パートナーズ専用ページは、参加施設の職員、参加団体、支援チーム、協賛団体を対象とし、利用（ログイン）するのにパスワードが必要です。
 - ・支援ツールやセミナー案内、活動紹介等は、全国の医療機関の方々に広く活用いただくために原則として公開ページで提供しています。しかし、事故事例に関するものや、非医療者に誤解される可能性がある内容は公開の場での相談や情報提供がしにくいので、そのような場合には、パートナー専用ページをご利用ください。
 - ・掲示板を設けていますので、活動の紹介や質問ご意見をお寄せください。また、参加登録施設向けのご案内や、登録施設用のバナー、セミナーの資料等もパートナーズ専用ページからご提供いたします。
4. 共同行動に参加して医療安全に熱心に取り組んでおられることを、患者さんほか貴施設を訪ねられる方々に広くアピールしてください。
 - 参加登録施設に、ロゴマークの入った共同行動参加登録証をお送りしています。 外来受付など目につくところにご掲示ください。カラーコピーも可能です。施設名称に変更がございましたら再発行いたしますのでお知らせください。
（要望がありましたので、希望される施設に掲示用特別プレートの提供（有料）を検討中です。具体化すれば追ってご案内いたします。）
 - 貴院のホームページに 共同行動参加施設のバナー を掲示してください。また、共同行動ホームページのリンクをつけていただけると幸いです。バナーは、パートナーズ専用ページからダウンロードできます。また、事務局までご連絡いただければお送りいたします。
 - パートナーズ専用ページから、目標別キャンペーンポスター がダウンロードできます。
関係部署の目につくところに掲示してください。また、事務局までご連絡いただければ、必要部数をお送りいたします。キャンペーン・ビデオや海外からのメッセージ・ビデオもダウンロードできますので、研修会などでご利用ください



5. 地域フォーラムや地域セミナーに参加しよう

9 目標に関連するテーマで地域研修会の開催を希望される場合は、地域推進拠点または事務局までお知らせください。また、院内研修会への講師派遣のご要望をお寄せください。（同じ地域の病院や診療所にもお声掛けいただけると幸いです。）

6. 問題解決のための現状把握と進捗把握のために、指標や調査を活用しようー

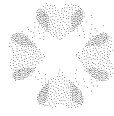
21012 年は、HSMR のほかにも、安全文化の測定、安全知識調査（準備中）などのツールの提供、また、改善のやり方や5S 導入のための個別指導の提供など、病院や診療所の個別ニーズや要望に応えられるように努めます。順次お知らせしますので、ぜひこれらの機会をご活用ください。

7. 参加登録施設へ - ご協力をお願い

厳しい経済環境と災害の影響で今年度事業財源が大幅に制約されますことから、第 2 期共同行動（2011ー12）では事業推進にかかる自主財源として参加登録施設に参加登録費のご協力をお願いしています（病院 5 万円、診療所 1 万円）。参加登録施設に共同行動ロゴマーク入りの参加登録証をお送りいたします。

8. 「医療安全全国共同行動(2008-10)の報告と提案」をお送りいたします

第1 期共同行動の概要をまとめた冊子ができました。ぜひご覧いただきますようご案内いたします。共同行動の公開ホームページからダウンロードできます。事務局までメールでご連絡いただければ必要部数をお送りいたします。（実費負担をお願いします。10 部 5 千円送料込）



医療安全ワークショップ “いのちをまもるパートナーズ”のご案内

- 日時 4月28日(土) 29日(日)
- 会場 京都テルサ府民総合交流センター
<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/conference.html>
- 参加費 1万円 (29日交流会費を含む)
*実技講習会(プレワークショップ)も受講される方は1万3千円
- 主催 医療安全全国共同行動
- 申込方法: 共同行動ホームページ <http://kyodokodo.jp/> からお申し込みください
*病院・診療所職員の方々ほか医療関係者はどなたでもご参加いただけます
- お問い合わせ: 医療安全ワークショップ事務局 workshop2012@convention.co.jp
(日本コンベンションサービス株式会社東北支社内)
TEL 022-722-1311 FAX 022-722-1178

-プログラム概要-

詳細はホームページをご参照ください

4月28日(土)

【プレ・ワークショップ】

- 13:00-17:00 実技講習会 (定員あり先着申込み順、申込時に下記から選んでください)
- 事例分析実習 (講師 河野龍太郎氏)
 - 診療所の基本安全手技と輸液ポンプの安全操作 (実習)
 - 人工呼吸器下のケア (実習)

【ワークショップ】

- (1) 18:00-18:20 開会挨拶&オリエンテーション
- (2) 18:30-19:30 教育セミナー
 - A. 診療所の安全対策(医科診療所と歯科診療所)
 - B. 安全目標を実現するためのチームプロジェクトの実際
 - C. 肺塞栓予防のための抗凝固療法の安全管理

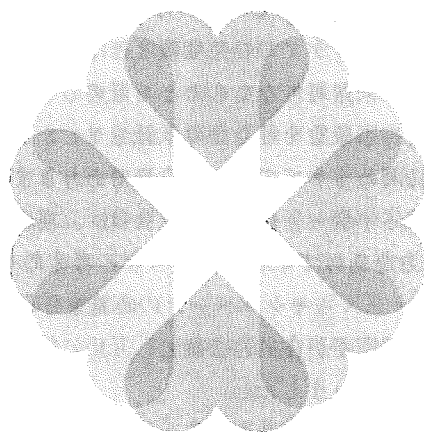
4月29日(日)

- (3) 9:00-10:40 全体セッション「安全目標を実現するめに」
改善チームによる課題別プロジェクトの進め方と指標の活用
- (4) 11:00-13:00 目標別分科会A (申込時に選んでください)
(目標1) 危険薬誤投与防止、(目標2) 肺塞栓予防 (目標4) 感染対策
(目標5) 医療機器の安全操作 (目標7) 事例分析と改善
- (5) 交流会 (昼食時)
- (6) 14:00-17:00 目標別分科会B (申込時に選んでください)
(目標S) 手術安全 (目標3a) 経鼻栄養チューブ (目標3b) 人工呼吸器下ケア
(目標6) 急変時対応 (目標8) 患者参加

医療安全全国共同行動

“いのちをまもるパートナーズ”

(2nd Stage 2011-12)



いのちをまもるPARTNERS

医療安全全国共同行動

<http://kyodokodo.jp/>
secretariatpartners@kyodokodo.jp

医療安全全国共同行動への参加を呼びかけます

あいにく医療事故によって、いま医療に対する信頼が大きく揺らいでいます。

医療従事者は医療の安全確保に日々努力を重ねています。しかし、医療技術の急速な進歩に対して医療システムや制度改革が遅れた結果、欧米の調査によると、入院患者の3%～16%に医療行為に伴う何らかの傷害（有害事象）が生じており、米国医学研究所は、そのうち半数強は回避可能なものでこれらの傷害が関与して死亡したと推定される死亡の数は年間44,000人から98,000人に上ると報告し、医療システムの質と安全を早急に改善する必要があることを指摘しました。日本の調査では、入院患者の6.8%で有害事象が生じていることが報告されており、これはカナダでの発生頻度とほぼ同じであることを示します。

医療過程で生じる有害事象には本来回避可能なものと不可避のものがありますが、有害事象が多発する現実を直視すれば、これら多発する有害事象を可能な限り低減させ、かつ有害事象から患者さんの生命を守るために全力を尽くすことは医療に関わるすべての人々の責務であります。いまこそ、医療を担う人々と医療機関、医療を支えるさまざまな団体・学会・行政・地域社会は、立場や職種の壁を超え、一致協力して有害事象の低減と医療事故の防止に総力をあげて取り組むべきとの考えのもと、2008年5月に医療安全全国共同行動（“いのちをまもるパートナーズ”キャンペーン）の実施を呼びかけました。これを受けて、日本の医療を担う多くの団体と全国の医療機関が自主的に参加し、互いに協力しながら医療の質・安全の確保と向上をめざす組織的な活動を推進してまいりました。

これまで2年間の活動を通じて安全対策の普及が進み、指標にもその成果が現れつつあります。その成果を確たるものとし、医療安全の普及をさらに進めるために、共同行動の一層の拡大と発展が重要と考えますことから、全国の医療機関と医療に関わるすべての人々にこのプロジェクトにご参加いただき、ともに力を合わせて信頼される医療の確立を実現することを呼びかけます。また、患者さんと医療者がともに安心して治療に専念できる医療環境づくりに、国民の皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

2012年1月1日

医療の質・安全学会理事長 高久 史磨
日本医師会会長 原中 勝征
日本歯科医師会会長 大久保 満男
日本看護協会会長 坂本 すが
日本病院薬剤師会会長 堀内 龍也
日本臨床工学技士会会長 川崎 忠行

医療安全全国共同行動(2nd Stage 2011-12)の提案

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”は、医療行為に関わる有害事象と有害事象に起因する入院中の死亡を低減するために、8つの安全目標と推奨対策を、広くかつ早く全国の医療機関に広めることを目的とするキャンペーン事業で、2008年5月にスタートしました。

従来、団体や学会が個別に進めていた医療安全の取り組みを、優先目標を共有することでそれぞれの取り組みが効果的に連携し、職種や専門の壁を超えたチーム・アプローチを容易にし、相乗効果を発揮することをめざしています。

2008年5月17日に日本経団連会館で行われたキックオフ・フォーラムを皮切りに、近畿、北九州、東北で地域でキックオフ・フォーラムを開催して、共同行動へ参加を呼びかけるほか、ホームページからキャンペーンの趣旨を伝えるよう努めました。このような医療界挙げての共同行動は日本では初めてのことで、事業財源の制約もあり、文字通り手作り手探りで進めてまいりましたが、幸い多数の団体、学会の協力をいただき、共同行動の存在がだんだん知られるようになってきました。共同行動の地域推進拠点になっていた地域の団体や機関のご尽力により、全国各地で27回の地域フォーラムと支援セミナーを開催したほか、協賛いただいている企業にも8目標の実現を援ける研修会の開催にご支援いただきました。

また、100名を超える多職種専門家の方々がボランティアで支援活動に従事し、8つの目標を実現するためのハウツーガイドや支援ツールの開発、メールやネット相談室を通じてのアドバイス、フォーラム分科会やセミナーの開催など、病院の取り組みへの支援にご尽力いただいています。

参加団体・施設、協賛団体のほか日薬連をはじめとする多数の企業からご援助いただいたおかげで、2009年から、定期報告による進捗状況のグラフ化、標準化病院死亡比(HSMR)の測定、9月からはウェブマガジンも発行できるようになり、取組み事例や成功事例の紹介も増えてきました。ビデオ教材の開発と提供、2010年からインターネットの公開動画サイトから動画映像の提供も始まるなど、ようやく共同行動が軌道に乗ってきたところで、3年目を迎えました。

これまでに、参加協力団体として82の団体と学会、地域推進委員会として49の地域団体、参加登録施設として613の病院が参加し、8つの目標の実現に取り組んでいます。参加登録病院のアンケートでは、ほとんどの施設が参加してよかったと答え(97.5%)、その理由として、目標が明確になったことや、参考になる情報や知識が得られたことを挙げています。

定期進捗報告によれば、推奨する対策59項目のうち、報告開始時に50%以上の施設で対策が浸透済み(対象となる部署のすべてで実施されている)とされた項目は当初12項目でしたが、最新の報告では29項目に増えました。また、「共同行動期間中に40%以上の施設で進展が見られた項目」が29項目に上るなど、各医療機関で安全対策が浸透しつつあることがわかりました。

共同行動では、改善効果を見る総合的な指標として欧米諸国で用いられている標準化病院死亡比(HSMR)を参考にするために、開発者である英国王立大学名誉教授ブライアン・ジャーマン卿に日本のHSMR基準値の算出と共同行動参加登録病院における変化の分析を依頼しました。185施設から提供されたDPCデータを基に、2008年を基準値100として半年ごとのHSMRを算出し経年変化を分析した結果、共同行動参加登録病院147施設のHSMRは、98.5から90.7に低下していることがわかり、医療安全への真摯な取り組みの成果がすでに現れつつあることが示唆されました。

これらのことから、共同行動運営会議は、共同行動の輪をさらに広げ、所期の目的を実現するために医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”を継続することを決定いたしました。ところが、本格始動へ準備中の3月11日に東日本大震災が発生し、仙台にある共同行動事務局が被災したため、共同行動継続の案内や諸般の活動が計画通りに実施できないまま半年以上が経過してしまいました。この間、共同行動に参加する多数の団体、医療機関が東日本大震災・大規模津波災害の被災者支援に取り組み、人々のいのちと健康をまもるという医療界の強い意志と結束の力が如実に発揮されました。この意思と力を引き続き存分に発揮して医療安全の実現をめざしたいと考えますことから、キャンペーン期間を2013年3月まで延長して、あらためて医療安全全国共同行動(2nd Stage)への参加を呼びかける次第です。

医療安全全国共同行動(2nd Stage)では、これまでの8つの目標に「安全な手術－WHO指針の実践」を加え、患者取り違えや異物遺残・術創感染の防止など手術に伴う有害事象の低減をめざします。また、病院だけでなく診療所にも広く参加を呼びかけ、地域推進拠点と地域支援病院の協力により地域での経験共有と相互協力の推進をめざします。

多くの課題が山積する中、医療安全の実現と医療への信頼向上は医療を担う者にとって急務の課題と考えますことから、医療界が職種や立場を超え力を結集することで、患者さんと医療者がともに安心して治療に専念できる環境づくりを1日も早く実現したいと願うものです。

【医療安全全国共同行動(2nd Stage 2011-12)の提案】

1. 実施期間 2011年1月～2013年3月

2. 目的 (1) 医療の質・安全の向上をめざす取り組みの普及

(2) 医療の質・安全向上の取り組み成果を可視化

(3) 医療に対する患者・市民の信頼の向上

3. 行動目標 S:安全な手術-WHO指針の実践

1:危険薬の誤投与防止

2:周術期肺塞栓症の予防

3:危険手技の安全な実施

4:医療関連感染症の防止

5:医療機器の安全な操作と管理

6:急変時の迅速対応

7:事例要因分析から改善へ

8:患者・市民の医療参加

4. 事業目標

<医療機関>

(1) 安全対策の実施・徹底を通じて有害事象に関わる可避死を低減する

(2) 医療現場に安全の文化を浸透させ、医療の質・安全を確保し向上させる組織能力の基盤を作る

(3) 職種や立場を超えた協力体制を構築する

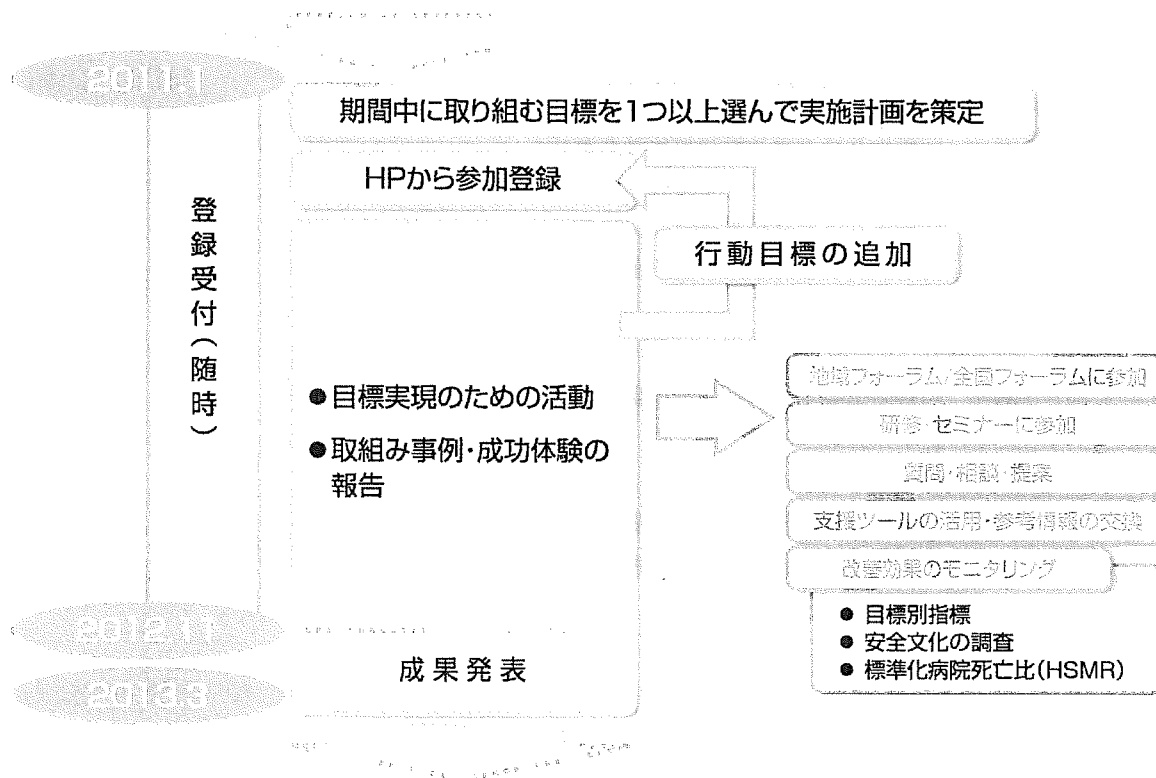
<キャンペーン>

(1) 病院と診療所の積極的な参加

(2) 有害事象と有害事象に関わる死亡の低減

(3) 地域推進拠点の構築

医療安全全国共同行動 (2nd Stage 2011-12)



■ 医療安全全国共同行動 運営組織

・医療安全全国共同行動運営会議委員

高久 史磨 (医療の質・安全学会理事長) * 医療安全全国共同行動議長
上原 鳴夫 (医療の質・安全学会副理事長)
高杉 敬久 (社団法人日本医師会常任理事)
溝渕 健一 (社団法人日本歯科医師会常務理事)
松月 みどり (公益社団法人日本看護協会常任理事)
佐藤 秀昭 (社団法人日本病院薬剤師会副会長)
本間 崇 (社団法人日本臨床工学技士会常務理事)

・監事

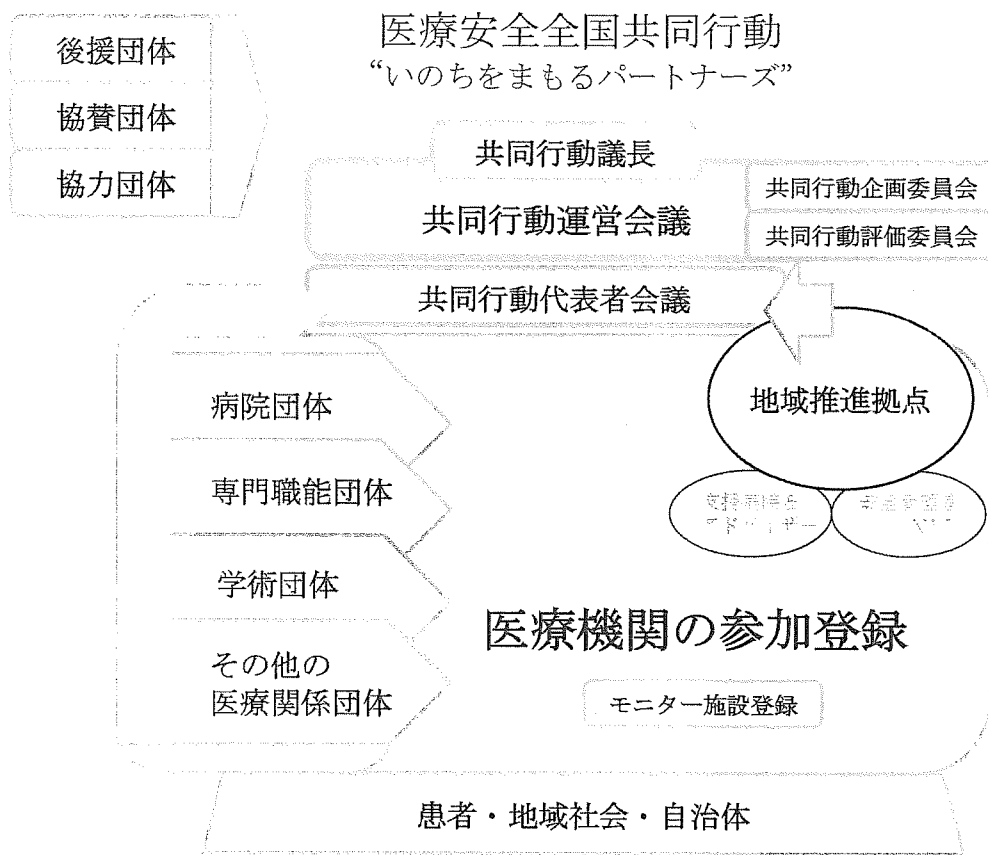
馬目 利昭 (馬目公認会計士事務所公認会計士)

・運営会議オブザーバー

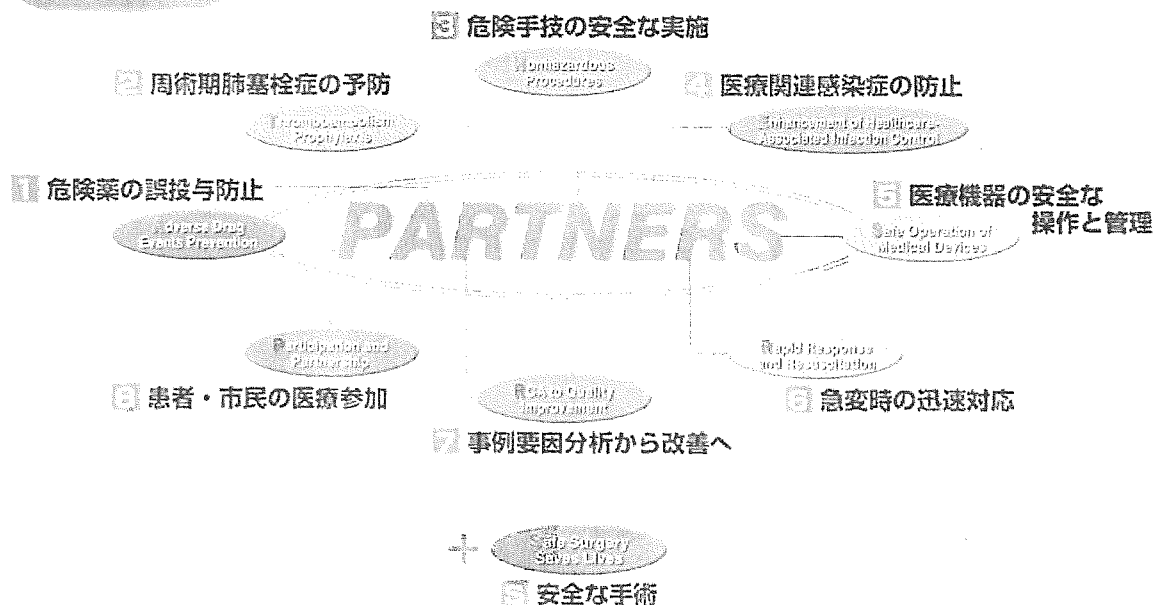
宮本 哲也 (厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長)
野本 亀久雄 (日本医療機能評価機構特任理事)
河野 龍太郎 (自治医科大学教授)

・医療安全全国共同行動 企画委員会

企画委員長	上原 鳴夫 (医療の質・安全学会副理事長)
地域推進拠点部会長	神原 啓文 (静岡県病院協会会長)
診療所部会長	高杉 敬久 (社団法人日本医師会常任理事)
委員	溝渕 健一 (社団法人日本歯科医師会常務理事)
支援部会長	小泉 俊三 (医療の質・安全学会理事)
総務部会長	佐藤 秀昭 (社団法人日本病院薬剤師会副会長)
財務部会長	本間 崇 (社団法人日本臨床工学技士会常務理事)



行動目標



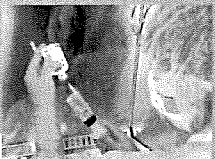
目標別キャンペーンポスター

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 1

危険薬の誤投与防止

1. 処方箋の読みと投与薬剤の名称・用量・用法の誤りによる投与防止、誤投与の防止
2. 薬剤師による投与確認、誤投与の防止
3. 薬剤師による投与確認、誤投与の防止
4. 薬剤師による投与確認、誤投与の防止
5. 薬剤師による投与確認、誤投与の防止



<http://kyodokodo.jp/>

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 2

局麻期術後合併症の予防

1. 局麻薬の投与量の管理
2. 局麻薬の投与量の管理
3. 局麻薬の投与量の管理
4. 局麻薬の投与量の管理
5. 局麻薬の投与量の管理



<http://kyodokodo.jp/>

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 3

危険手術の安全処置

1. 手術前の患者の身体検査
2. 手術前の患者の身体検査
3. 手術前の患者の身体検査
4. 手術前の患者の身体検査
5. 手術前の患者の身体検査



<http://kyodokodo.jp/>

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 4

医療関連感染症の防止

1. 手洗いの徹底
2. 手洗いの徹底
3. 手洗いの徹底
4. 手洗いの徹底
5. 手洗いの徹底



<http://kyodokodo.jp/>

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 5

経液ポンプ・シリンジポンプの安全管理

1. 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理
2. 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理
3. 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理
4. 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理
5. 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理



<http://kyodokodo.jp/>

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 6

緊急対応能力の向上

1. 有害事象に対する緊急対応手技の浸透
2. 心肺蘇生法の徹底教育の徹底
3. 院内救急計画の策定と体制づくり
4. 危機変化への早期対応態勢(RRIS)の確立(チャレンジ)



<http://kyodokodo.jp/>

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 7

事例長問答分析の活用

1. 事例長問答分析の活用
2. 事例長問答分析の活用
3. 事例長問答分析の活用
4. 事例長問答分析の活用
5. 事例長問答分析の活用



<http://kyodokodo.jp/>

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 8

患者・市民の健康歩み

1. 患者・市民の健康歩み
2. 患者・市民の健康歩み
3. 患者・市民の健康歩み
4. 患者・市民の健康歩み
5. 患者・市民の健康歩み



<http://kyodokodo.jp/>

いっしょにできる
PARTNERS
パートナーズ

目標 9

安全手術WHO指針の実践

1. 安全手術WHO指針の実践
2. 安全手術WHO指針の実践
3. 安全手術WHO指針の実践
4. 安全手術WHO指針の実践
5. 安全手術WHO指針の実践



<http://kyodokodo.jp/>